

ただ 町政を質す!!

平成30年第2回町議会（定例会） 一般質問

今定例会では2人の議員が登壇し、多岐に渡り議論が展開されました。
※一部要約して記載

一般質問

渡部 正騎 議員



問 高速道路が瀬戸瀬まで延伸し、札幌方面から多くの観光客が期待されるだけでなく、道内空港の民営化が予定され、インバウンド需要の取り込みが期待されるため、町内看板に関して次の4点について伺う。
① 平成31年12月にプレオープンが予定されている「遠軽IC道の駅」と平成33年にオープン予定の「(仮称)えんがる町民センター」の魅力を発信するための看板を設置する考えは。
② 生田原水穂と生田原清里にある「きのこの里」の看板など、町内の古く

なつた看板を修正する考えは。
③ 「かぜる安国」などの国道に接していない集会所施設や活動促進施設に対して、誘導看板を設置する考えは。
④ 平成27年度から町内に宿泊する外国人客が急増しているが、観光看板を多言語化する考えは。

と建設時期も含めた案内看板設置の協議を行っており、(仮称)えんがる町民センターへに関しても、オープン時期にあわせて整備を検討していきたいと考えています。
② 看板の改修に多額の費用が掛かることと、旭川・紋別自動車道の遠軽ICの完成も控えていることから、改修時期を検討してきました。

「道の駅」のオープンも具体化したことから、活用を検討します。
③ 公共施設については、町民からの要望等により、案内看板の設置を行ってきました。今後必要に

「道の駅」のオープンも具体化したことから、活用を検討します。
③ 公共施設については、町民からの要望等により、案内看板の設置を行ってきました。今後必要に

問	答
<p>① 魅力ある看板が必要では</p> <p>② 情報の古い看板はいつ修繕するのか</p> <p>③ 観光看板を多言語化する考えは</p>	<p>① 既設看板を活用し設置を検討したい</p> <p>② 費用が多くかかるので時期を検討したい</p> <p>③ 補助金等の活用も含め検討したい</p>

ただくことが大切なので、観光看板の多言語化による環境整備を図ることは、必要と考えています。
看板全てを一度に多言語化するには膨大な費用がかかることから、観光看板の改修等に合わせ補助金等の活用も含めて検討します。

再問 定住人口を増やす仕組みを作るのは長期的検討が必要。そこで交流人口を増やすことで将来的に定住に結びつけるという事が必要と考える。そのため、白滝地域に多い犬ぞり、カヌー、乗馬などのリピート率の高い体験型コンテンツを看板を通じて発信する考えは。

町長 「交流から定住へ」と考えています。人口減少を抑えるため、企業誘致などによる経済波及効果が重要です。看板の検討は同感ですが、設置は景観の面から必要最小限にしていきたい考えです。

町政を質す!!

一般質問

岩澤 武征 議員



問

新しい温泉施設で

「やまびこ温泉」はどいつなる

答

相乗効果を発揮できるよう
官民の連係で

問 マウレ山荘関連施設整備についての私の質問は、
・やまびこ温泉をどうするの
・お湯は大丈夫か。
・町や町民にとってメリットは。
という素朴な疑問です。さて、3月3日の新聞報道では、北海道空港側のグループ会社が運営する丸瀬布温泉マウレ山荘が大規模改修に合わせて行う日帰り温泉施設の新設を支援するため、上武利地区第2号源泉施設整備として1億3千万円を盛り込んだ」とありました。

委員会の資料には、このほかに温泉棟建設予定地の購入、マウレ・ミュージアムのリニューアル、専用水道施設などを加えおおよそ2億円が予定されています。そこで次の点について伺います。
1 この事業は、いつ、どのように計画されたものなのか。
2 「いこいの森」を含むこの地域全体の町としての将来構想をどのように考えているのか。
3 町の貴重な施設である「やまびこ温泉」への影響調査を実施したのかどうか。どのような影響があると考えているのか。

町長 昨年8月にマウレ山荘のリニューアルが文書で示され、町に源泉の湯量調査等の要請があり、10月に日帰り入浴施設について説明を受けました。富裕層を含む多様な観光客の確保に向け、山荘本館の高級化を図るためにリニューアルし、今後は宿泊者専用の施設となるそうです。

これまでの日帰り入浴客は、新しい施設を利用することが見込まれ、町としては、観光振興などの観点から総合的に判断しました。
再問 町の貴重な財産であるやまびこ温泉とマウレ山荘が作る日帰り温泉は競合して、やまびこ温

泉はやっていけなくなるのではないか。
町の施設があるのに、民間業者の同じような施設のために町のお金を使うのはどうか。それなら「やまびこ温泉」にお金をかけてリニューアルすべきではないか。
町長 観光産業は、裾野の広い産業と言われている、雇用、観光客による消費の拡大、固定資産税などの相乗効果があり、地域の交流人口が増え、定住にもつながる可能性ががあります。
民間の力を借りながら、遠軽観光、遠軽の奥座敷である武利地区の振興を図っていきます。

